

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成25年10月1日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第25号

こんにちは、ばんよしはるです。一日の寒暖の差が激しい季節になりましたがお元気ですか。

今年の夏も、猛暑日が続き、異常気象とも言える状況でしたので9月議会の一般質問には、小中学校の普通教室へのエアコンの設置について質問させていただきました。

昔の暑さとは質が違ってきていることにより校内の環境が限界になっているのではと感じているからです。

なかなか、町としては設置するのに3億円の高額の費用がかかることの財政的な問題や昨今の電力問題等の諸問題により、すぐには実現することが難しい事業という回答でしたが、このままでよいとは町としても考えていないことが分かりましたので、粘り強く訴えていきたいと思っております。

また、9月議会では、来年度から高齢者の方々に使っていただいている、奈良交通のバスカード5000円をJRのイコカカード3000円に変更することを検討しているとの話がありました。

このイコカカードであれば、奈良交通バスはもちろんJR・近鉄などの私鉄・大阪地下鉄等に乗車することができるうえ、コンビニでの買い物にも使えることにより、幅広く高齢者の方々の外出支援をしていきたいとの思いがあるようです。

他には、紙おむつ専用ごみ袋の無料交付について、乳幼児0歳から3歳まで1人につき年間60枚一様に支給されているが、0歳児では節約しても足らなくなり、3歳児では余っていることが多くあるようだが、年齢による支給枚数を検討するべきではないのかという質疑に対し、町としては今後、住民の対象となる皆様にアンケートを取らしていただき、その回答が年齢により枚数を変えて欲しいとの声が多くあるようであれば、来年度から支給枚数を乳幼児の年齢別にしていくことを検討していくと回答がありました。

この件につきましては、同僚議員と共に町に質疑したのですが、紙おむつ専用ごみ袋だけの問題ではなく、住民の目線で行政が事業を行っているのか、きちんとしたサービスがおこなわれているのかが、問われているのです。

今後も行政の目線ではなく、住民の目線での事業運営ができているのかを事業ごとに検証することが大切です。

平成24年度決算審査において、財政面での課題として国民健康保険の赤字を少なくするために、介護保険金の一般会計からの繰り入れを毎年おこなっておりますが、累積赤字が5億円に近づいていることや、保険の主体が奈良年内の市区町村から県に平成29年をめどに移行する計画があることを踏まえ、早期の抜本的な対策を採るように強く要望いたしました。

これからも、いろいろな審議の内容を随時ご報告させていただきます。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。